

# 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月22日（金）

株式会社アイティフォー（証券コード：4743）

代表取締役社長 佐藤 恒徳

## ---2020年3月期---

1. 決算サマリー
2. 決算概況
3. 事業別の状況

## ---2021年3月期---

4. 連結業績見通し
5. 新型コロナウイルス感染症の影響

## 参考資料

# 1. 2020年3月期 決算サマリー



20/3期 実績	決算概要	<p><b>売上高 15,239百万円 (前期比+21.4%)</b>  <b>営業利益 1,728百万円 (前期比 +5.5%)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法対応の特需、豊富な受注残からの売上寄与により、売上高は過去最高を更新                      一方、営業利益は増益となったものの売上総利益率の低下により一桁の伸びにとどまる</li> </ul>
	事業概要	<p><b>受注高 15,969百万円 (前期比△2.2%)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期に獲得した大型案件はなかったものの、BPOサービス等の公共向け事業の好調およびキャッシュレス決済事業の拡大により若干の減少にとどまる</li> </ul>
	トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト開発会社イーブ社のグループイン</li> <li>キャッシュレス決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の受注拡大                      ラグビーワールドカップ2019会場、および自治体窓口に導入開始</li> </ul>
21/3期 業績予想		<p><b>売上高 14,500百万円 (前期比 △4.9%)</b>  <b>営業利益 1,800百万円 (前期比 +2.1%)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>減収ながらも売上総利益率の改善により、利益は前期に対し増益を見込む</li> </ul>

# 連結決算ハイライト

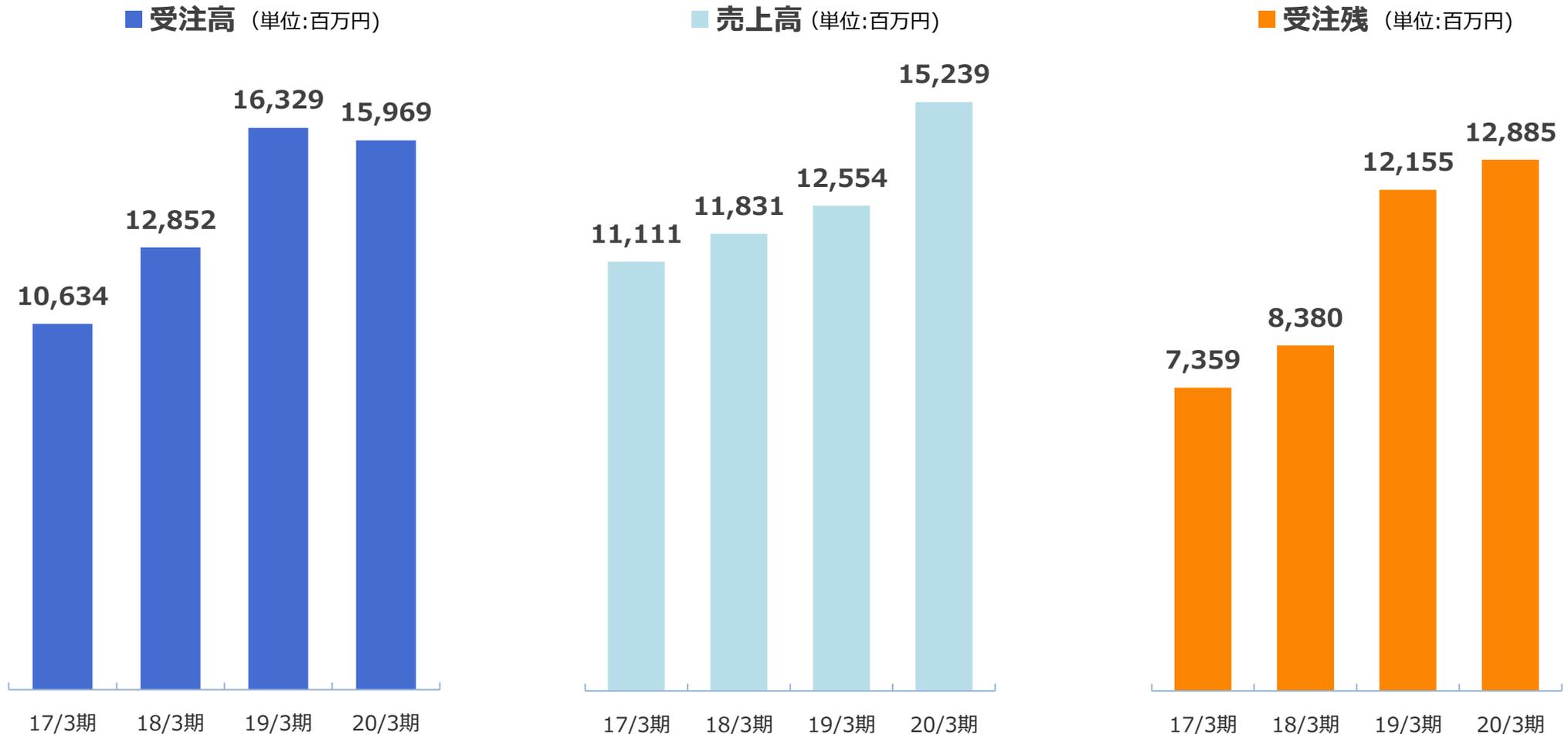
- 売上は前期末受注残の寄与と、受注の伸長により大幅増収
- 各利益は、売上総利益率の低下により期初予想に対し未達

(単位:百万円)	19/3期			20/3期			
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	期初予想
売上高	12,554	100.0%	+6.1%	<b>15,239</b>	<b>100.0%</b>	<b>+21.4%</b>	<b>13,200</b>
売上総利益	4,652	37.1%	+2.7%	<b>4,840</b>	<b>31.8%</b>	+4.0%	<b>4,970</b>
販管費	3,014	24.0%	+0.8%	<b>3,112</b>	20.4%	+3.2%	<b>3,070</b>
営業利益	1,637	13.0%	+6.6%	<b>1,728</b>	11.3%	+5.5%	<b>1,900</b>
経常利益	1,709	13.6%	+6.5%	<b>1,839</b>	12.1%	+7.6%	<b>1,950</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	1,148	9.1%	+2.2%	<b>1,232</b>	8.1%	+7.3%	<b>1,330</b>
受注高	16,329	—	+27.1%	<b>15,969</b>	—	△2.2%	<b>16,000</b>
受注残	12,155	—	+45.0%	<b>12,885</b>	—	+6.0%	<b>14,955</b>

## 2. 2020年3月期 決算概況

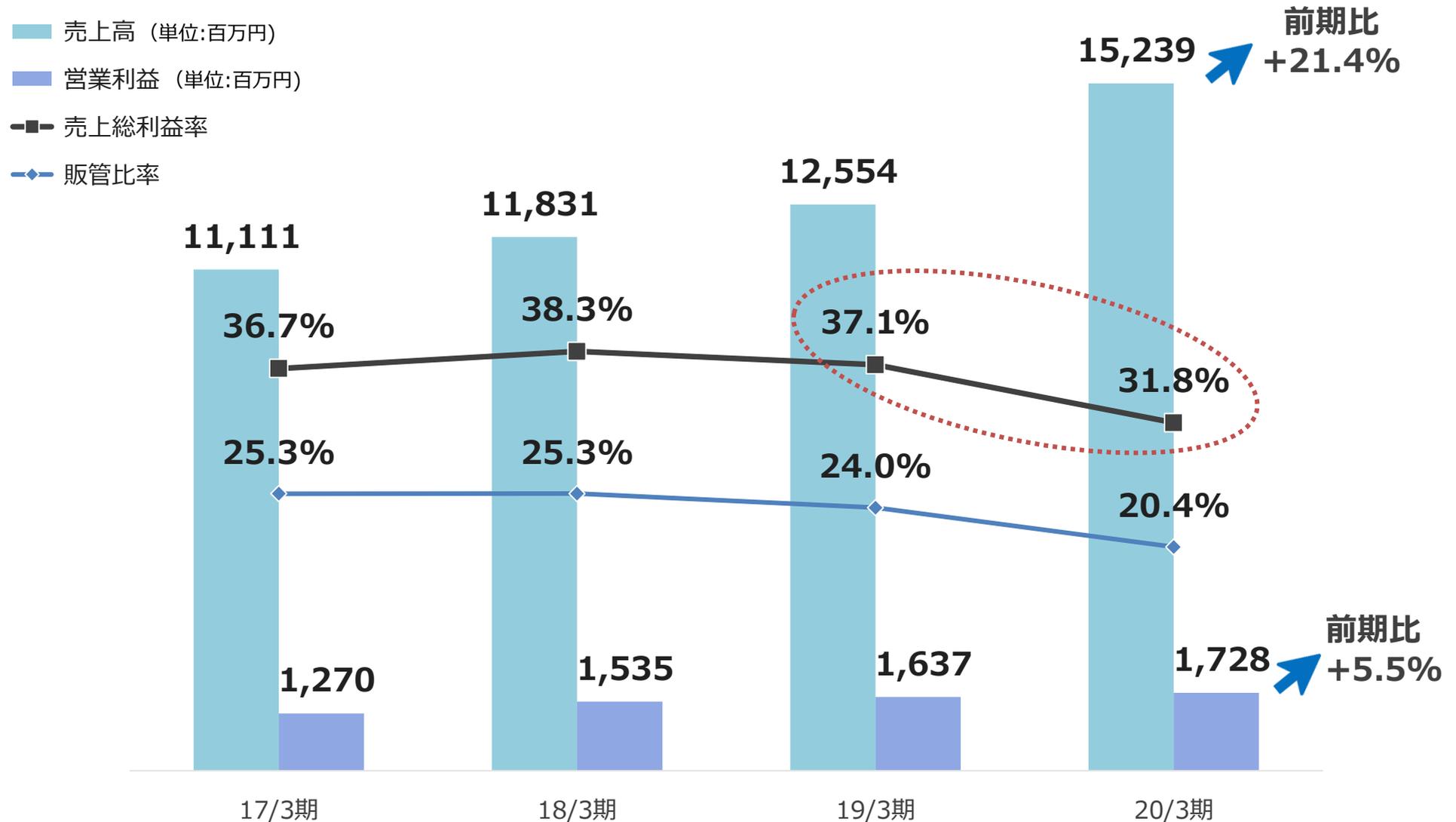
# 受注・売上高・受注残の推移

- 19/3期の下期以降、改元対応の特需等により受注が増加  
消費税率の改正や軽減税率の対応等により20/3期の受注も好調を維持し、20年3月末受注残は前期末を上回り過去最高を更新



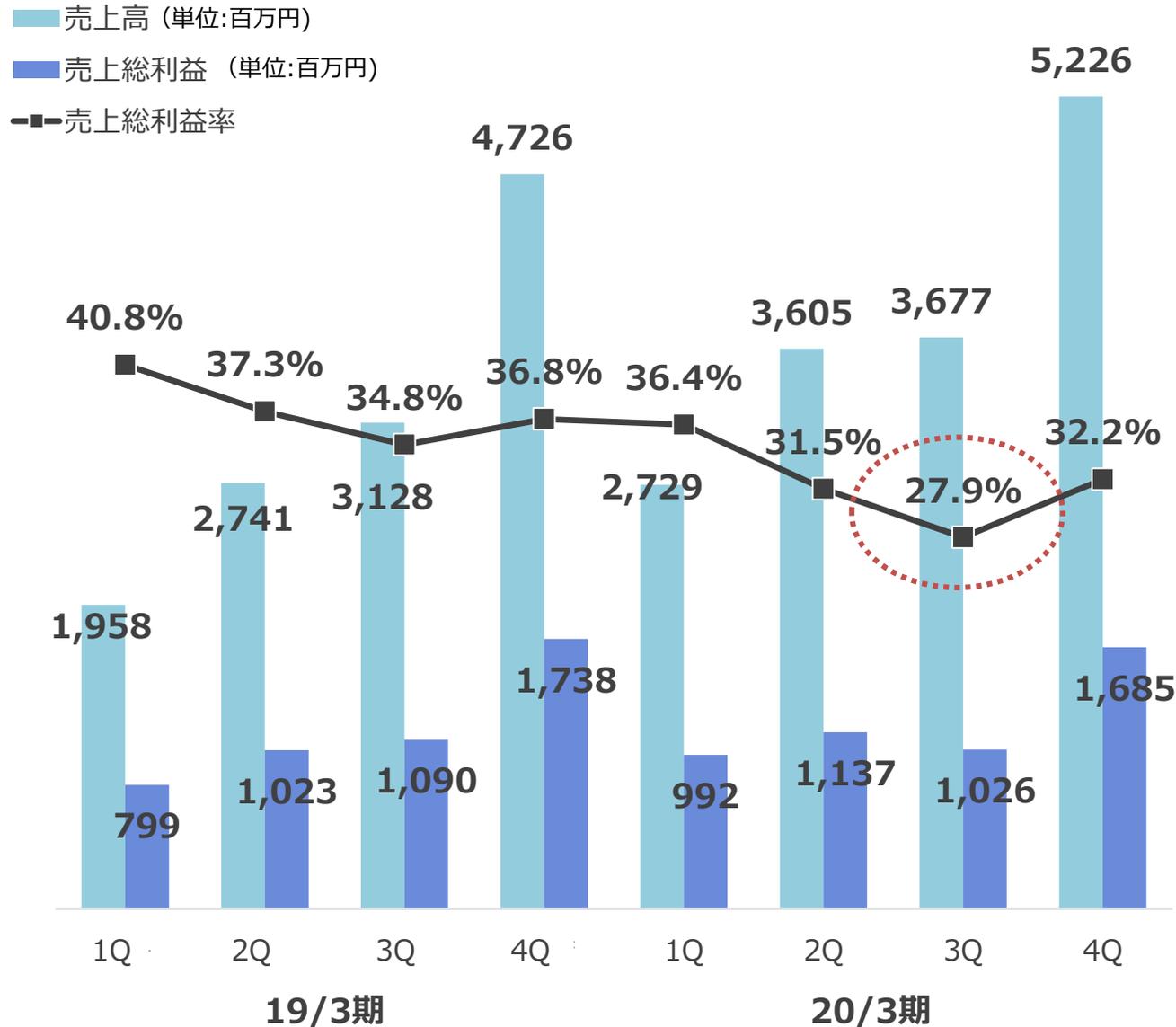
# 売上総利益率と販管費率の推移

- 販管費率は売上大幅増により大きく低下したものの  
売上総利益率の低下により営業利益の伸びは一桁に



# 四半期毎の売上総利益率の推移

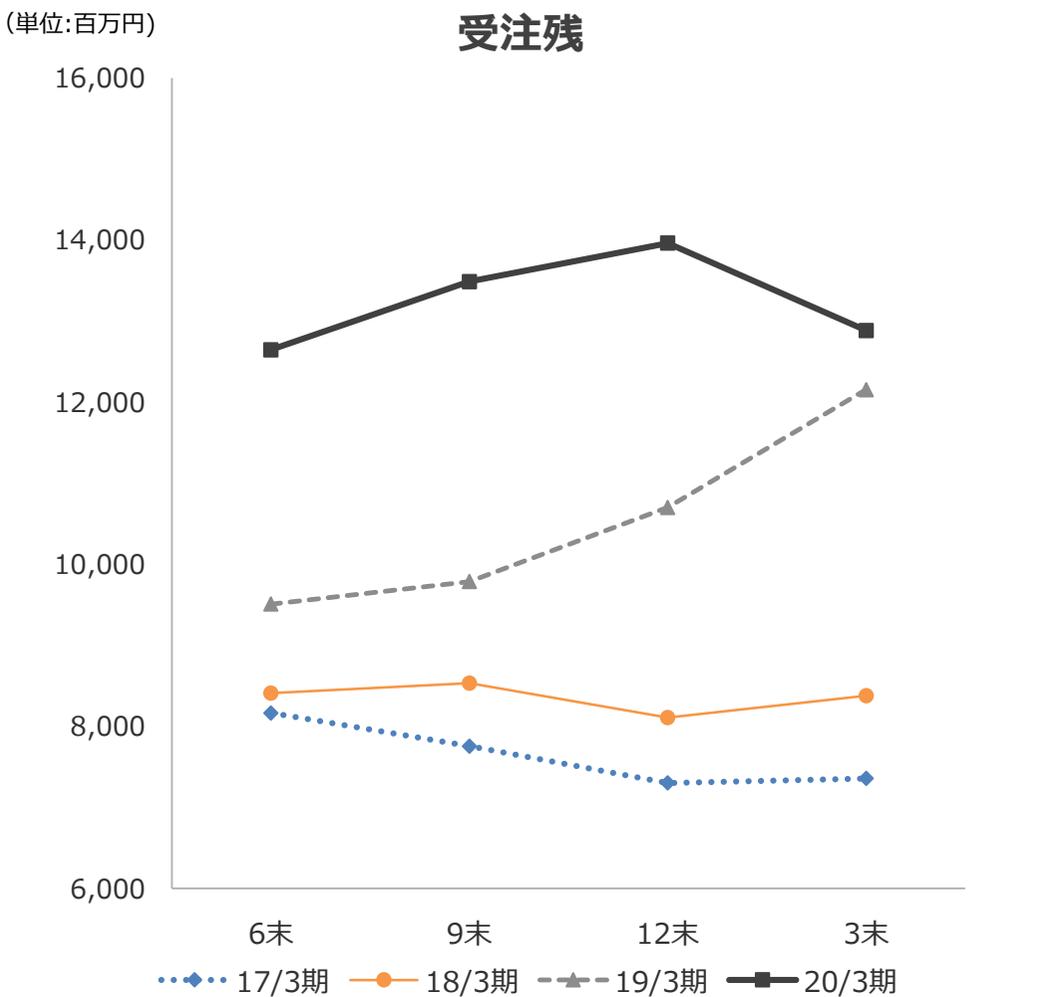
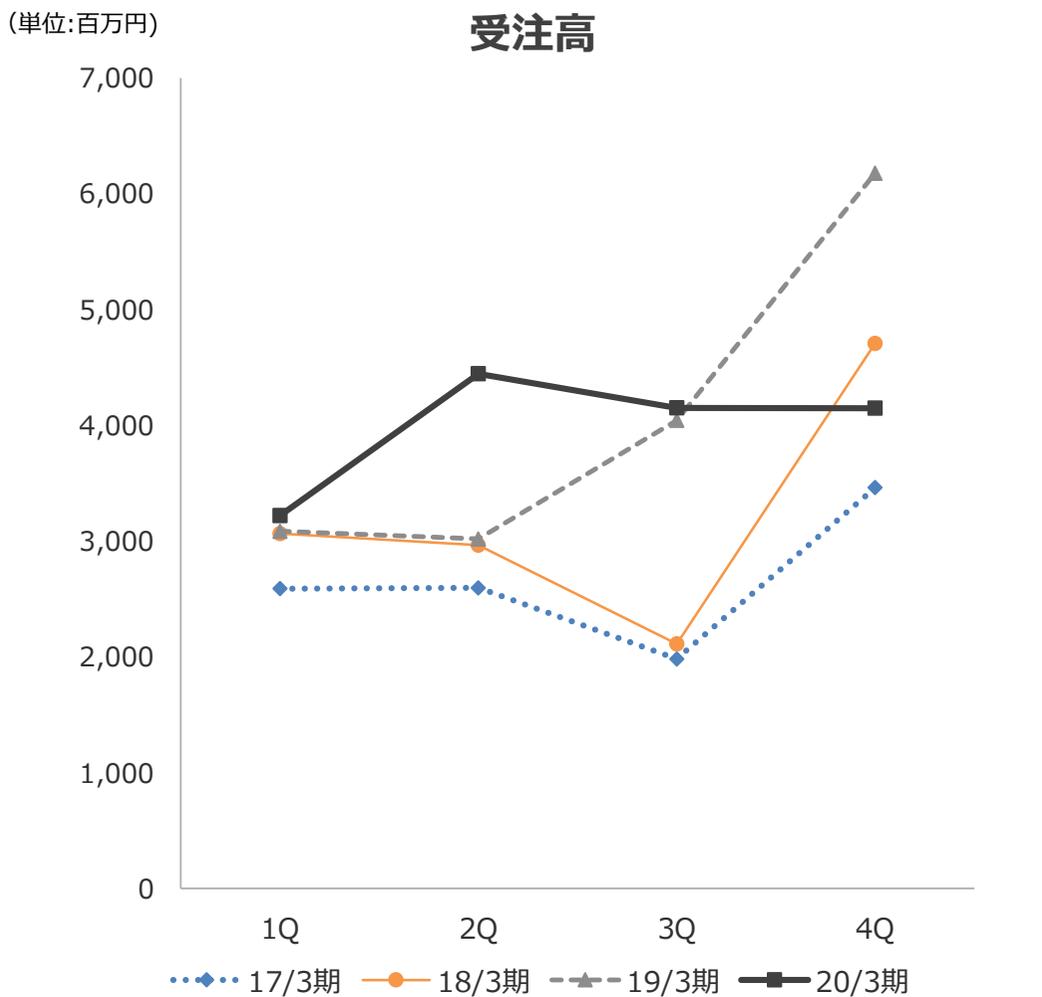
## ■ 売上総利益率は第3Qがボトム



### 売上総利益率の低下要因

- ・ 外注費の増加
- ・ 大型案件における工数の増加等によるコスト増
- ・ 戦略的な受注案件の獲得

# 四半期毎の受注高・受注残の推移

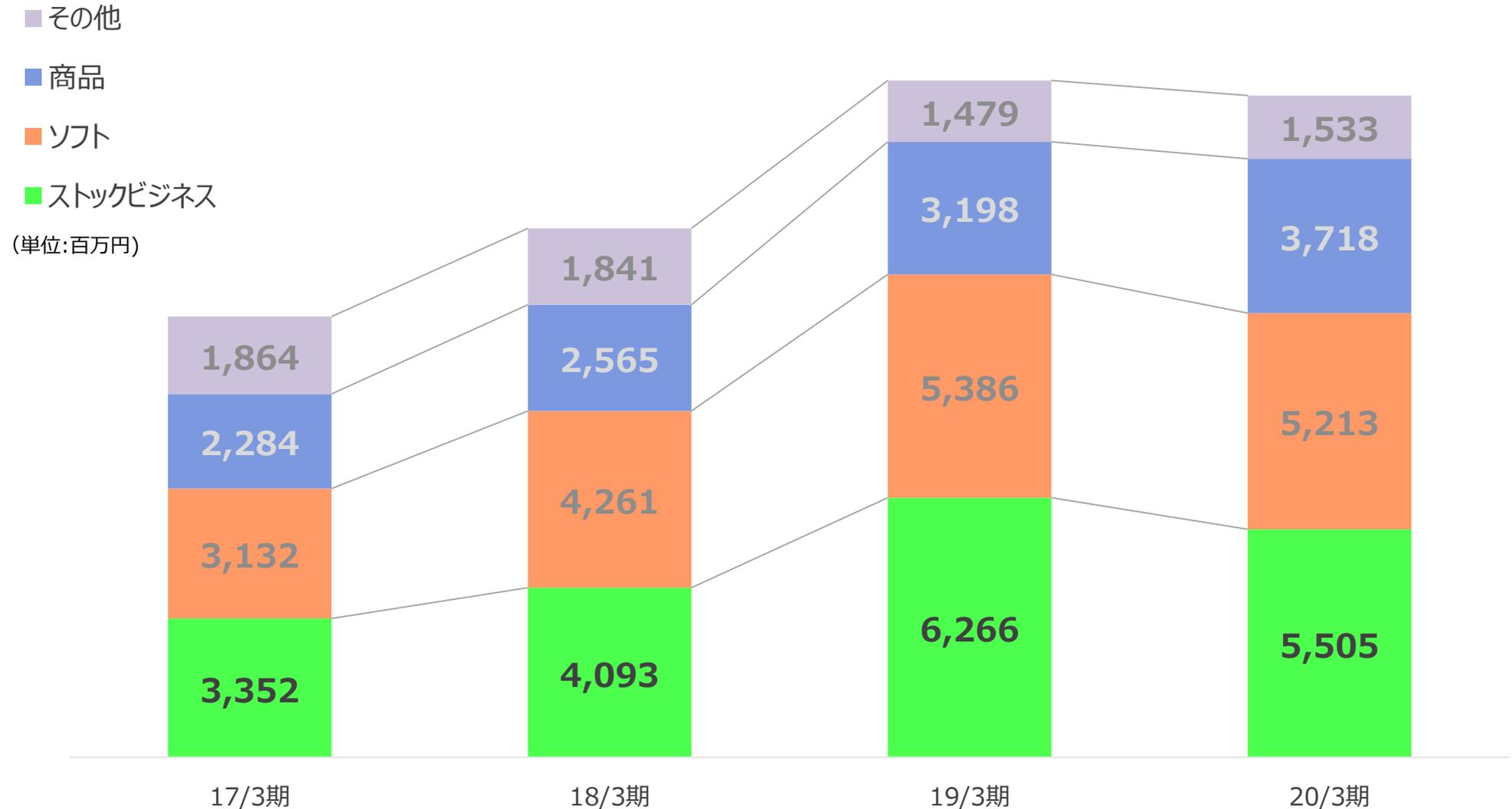


単位:百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	2,590	2,597	1,983	3,463
18/3期	3,066	2,965	2,112	4,707
19/3期	3,087	3,019	4,043	6,179
20/3期	3,221	4,446	4,152	4,149

単位:百万円	6末	9末	12末	3末
17/3期	8,166	7,758	7,302	7,359
18/3期	8,412	8,533	8,110	8,380
19/3期	9,509	9,787	10,702	12,155
20/3期	12,647	13,489	13,963	12,885

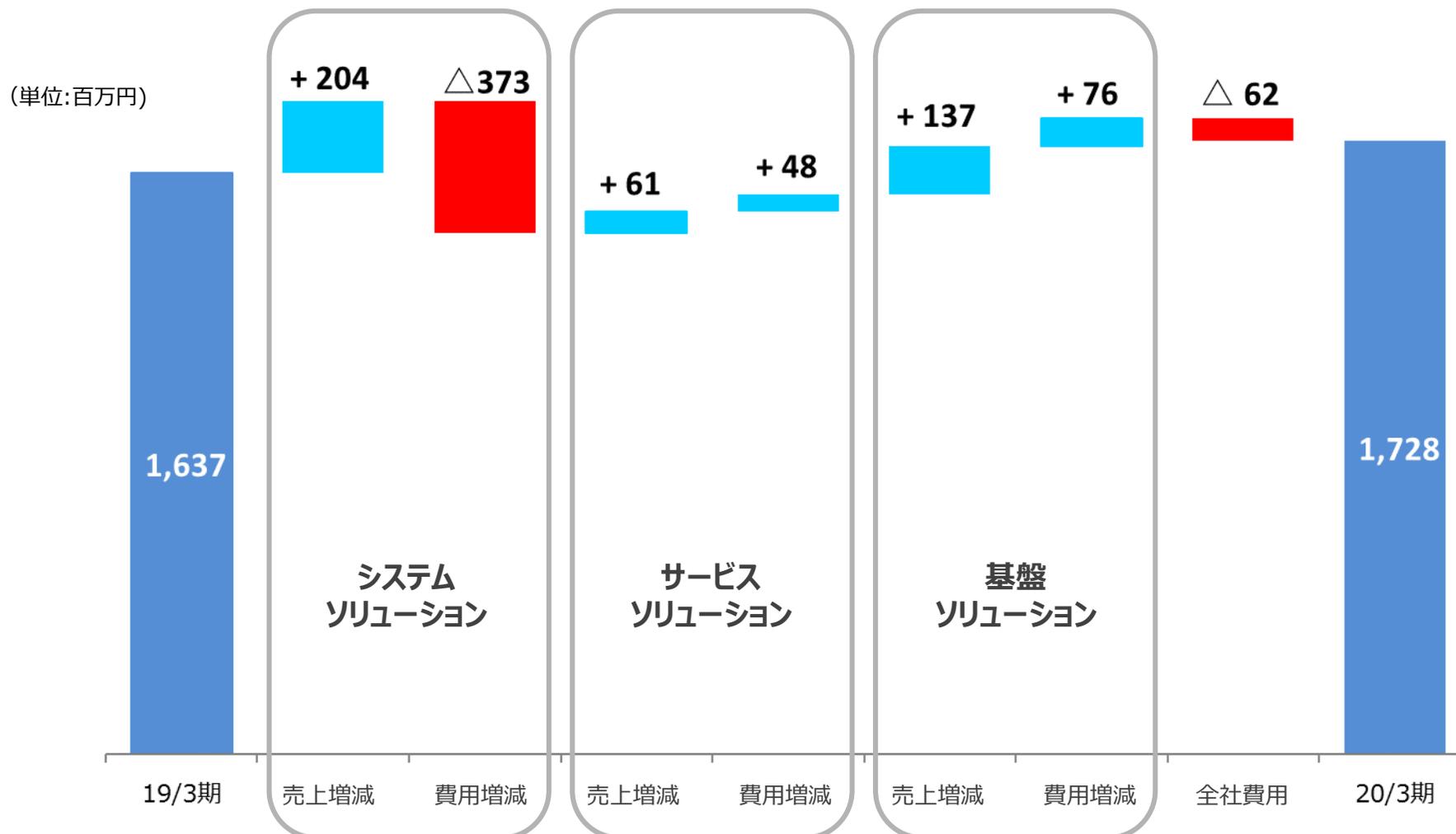
# 科目別受注高の推移

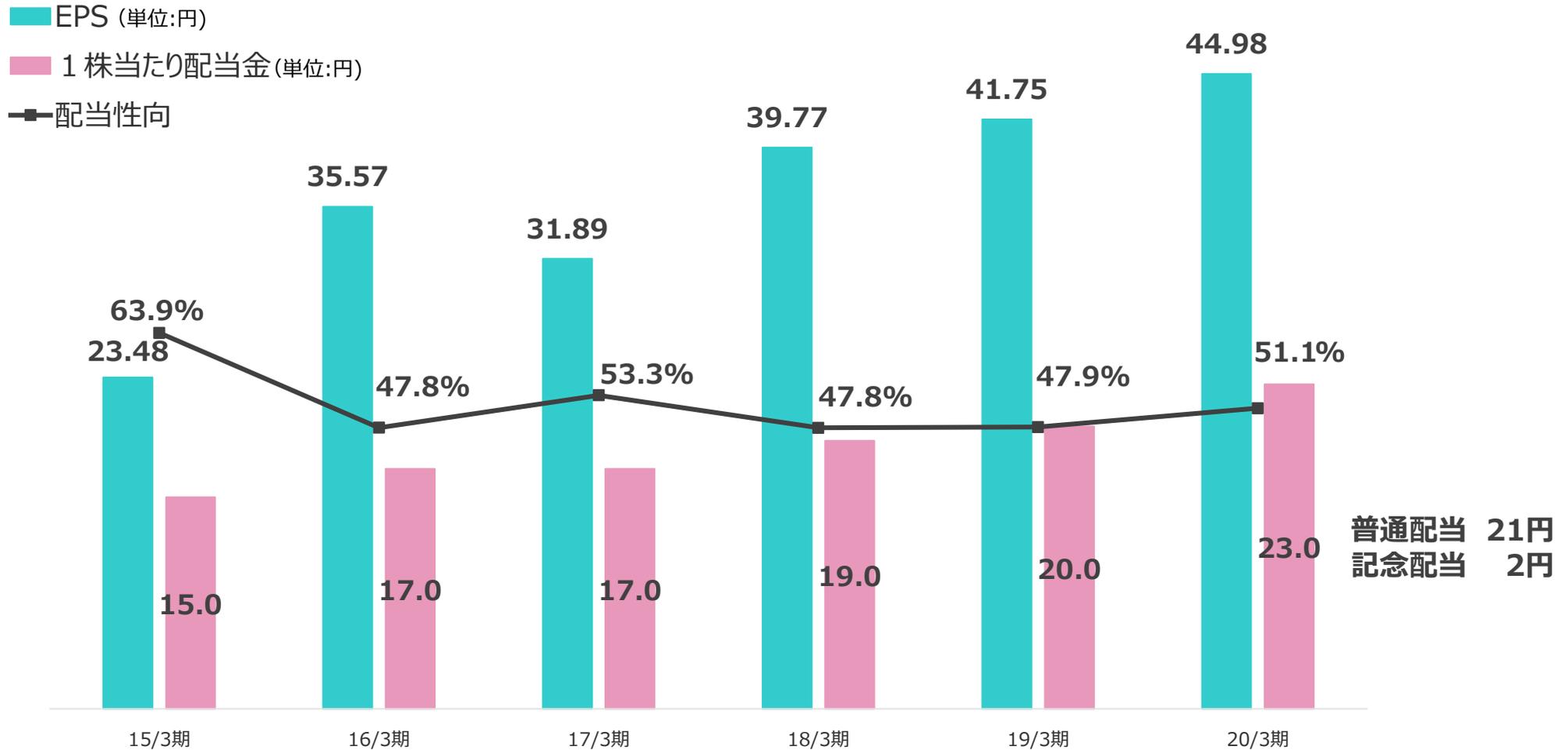
■ BPOサービス、保守、クラウド等、契約期間で売上を計上する  
ストックビジネス受注の増加傾向により収益安定化に寄与



# 営業利益の増減分析

- システムソリューションの利益率低下により、営業利益は対前期比5.5%増
- 基盤ソリューションでは決済端末「iRITSpay」の売上増により増益





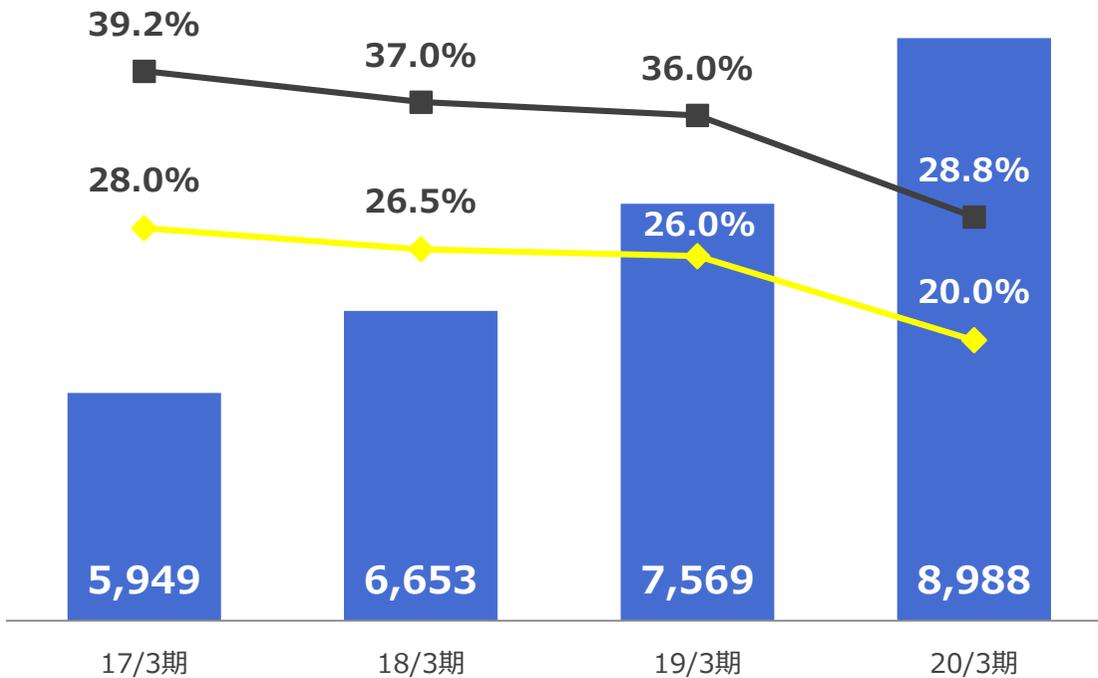
自社株買いの実施状況： 16年5月12日～9月6日 80万株取得（市場買付／取得価格総額 4億21百万円）  
 18年2月2日 80万株取得（取得価格834円）  
 18年8月9日 16万7千株取得（取得価格 1,018円）  
 19年12月11日 20万株取得（取得価格 871円）

# 3. 2020年3月期 事業別の状況



# 【1】システムソリューションの業績

(単位:百万円) ■ 売上高 ■ 粗利率 ◆ 営業利益率



単位:百万円	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	前期比
受注高	5,973	8,237	9,737	8,333	△14.4%
受注残	4,020	5,603	7,771	7,116	△8.4%
営業利益	1,666	1,765	1,967	1,797	△8.6%

## ■ 売上高 (前期比 +18.8%)

- 改元対応の特需
- 消費税率の改正・軽減税率対応
- 19/3期受注した新規大型案件（大手カード会社、首都圏の百貨店）が売上に寄与
- ソフト開発会社イーブ社のグループイン

## ■ 営業利益 (前期比 △8.6%)

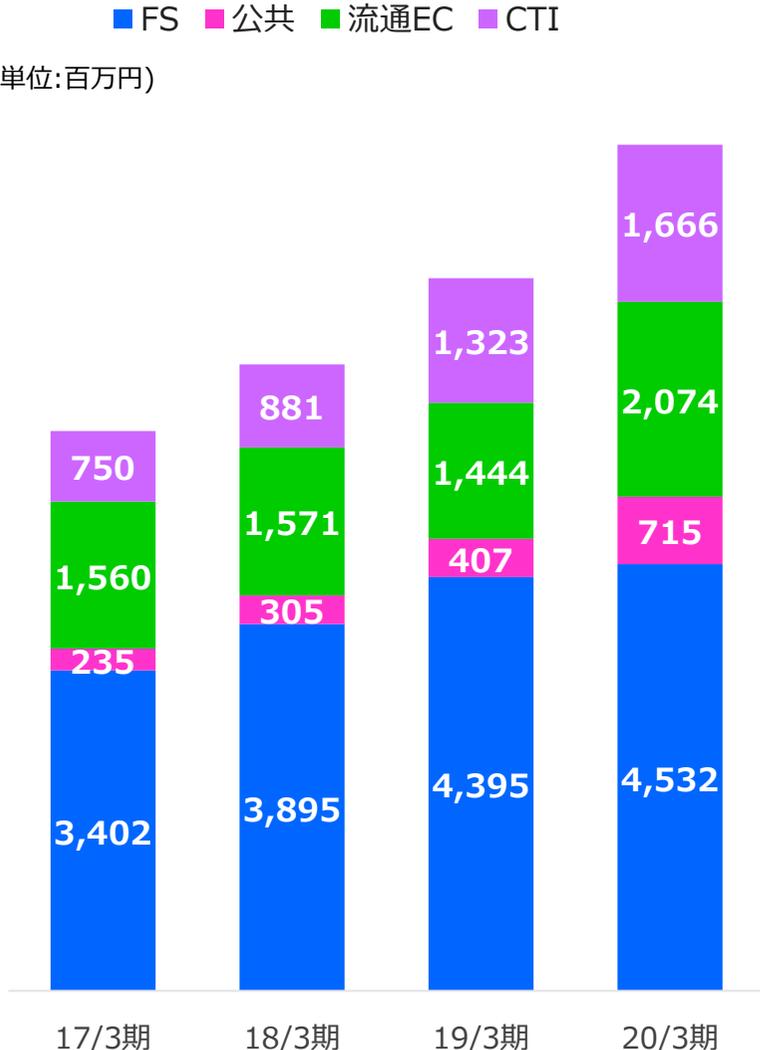
- 法対応関連の案件における原価率の上昇
- 新規大型案件での低採算
- アンチマネーロンダリングシステム「NICE Actimize AML/CFTソリューション」の戦略的な受注獲得による利益率低下

# 【1】システムソリューション:分野別の売上高



■ FS ■ 公共 ■ 流通EC ■ CTI

(単位:百万円)



前期比  
**25.9%増**

CTIシステムでは、前期に受注した大型案件が売上に寄与したほか、「ロボティックコール」が好調を維持



前期比  
**43.6%増**

流通・eコマースシステムでは、基幹システム「RITS」やECサイト構築パッケージ「ITFOReC」の顧客向けに消費税率の改正・軽減税率対応の開発・リリースを行なったほか、首都圏の百貨店向け大型案件が売上げに寄与



前期比  
**75.8%増**

公共システムでは、滞納管理システムや学務支援システムの受注増が売上に寄与  
ソフト開発会社イーブ社のグループインにより大幅増



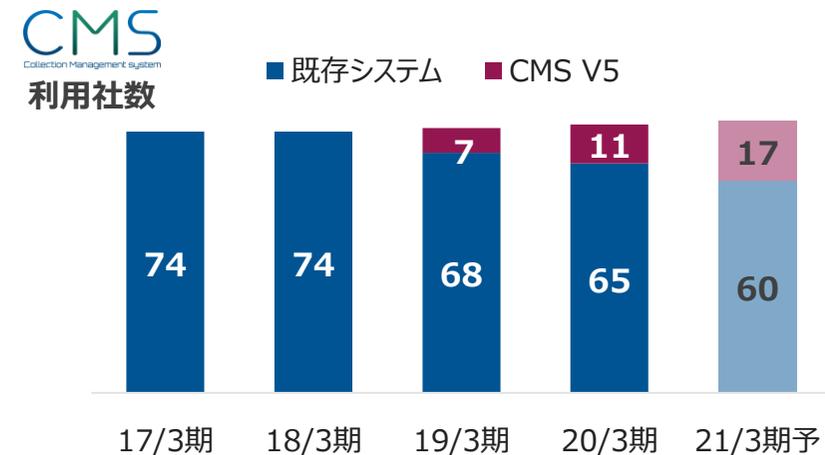
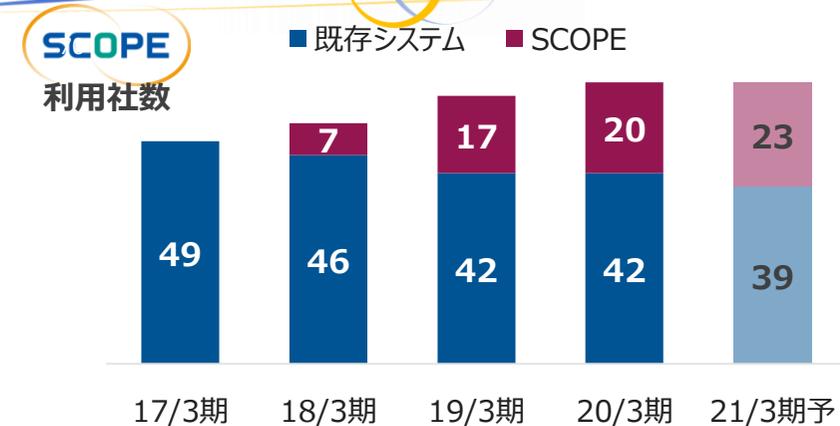
前期比  
**3.1%増**

フィナンシャルシステムでは、個人ローン業務支援システム「SCOPE」の販売が引き続き好調  
地方銀行からアンチ・マネーロンダリングシステム「NICE Actimize AML/CFTソリューション」の受注を獲得し売上げに寄与

# 【1】システムソリューション:主な事業の状況

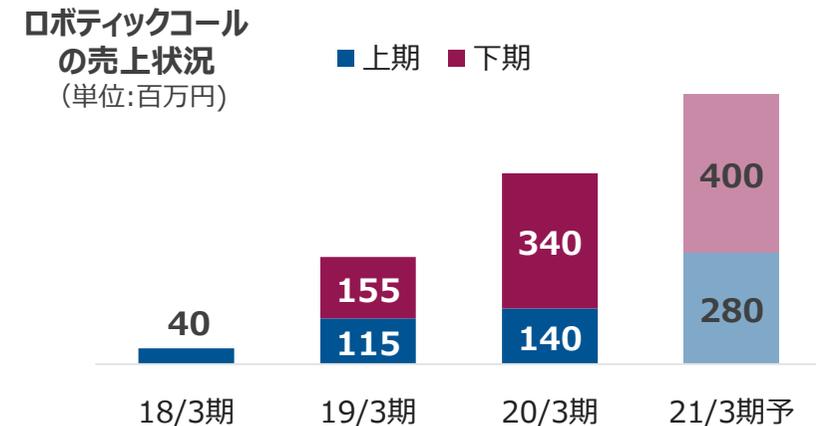
## 金融機関向け

- 個人ローンの申込受付から契約書作成まで一連の流れで全体管理できる「SCOPE」は、顧客の状況や体制等に応じたカスタマイズが容易なことから引き続き販売が好調
- 金融機関における債権を一元管理する「CMS」は、地方銀行のシェアが7割超。分析機能を実装し、オートコールの実施やSMS送信、入金約束管理など業務効率化の提案により高いシェア率を維持



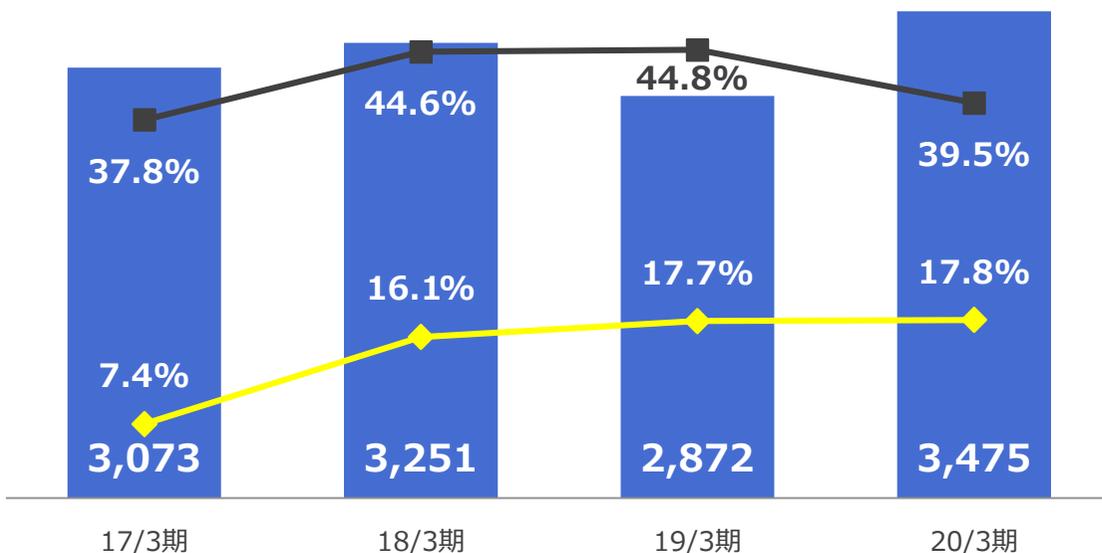
## コールセンター向け

- ロボティックコール（自動受架電システム）はターゲット顧客であるノンバンクをはじめ、大手地方銀行からも受注を獲得



# 【2】サービスソリューションの業績

(単位:百万円) ■ 売上高 ■ 粗利率 ◆ 営業利益率



## ■ 売上高 (前期比+21.0%)

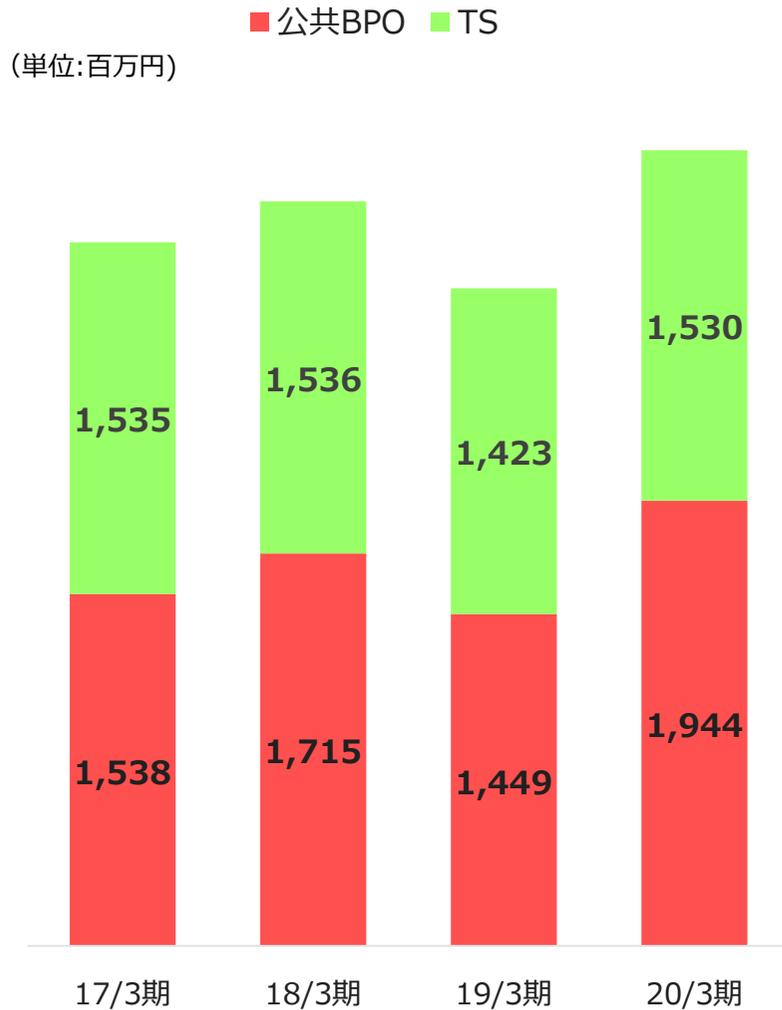
- 主に政令市・中核市のBPOサービスが増加
- 19/3期末の高水準な受注残が売上に寄与

## ■ 営業利益 (前期比+21.5%)

- 増収による増益
- 複数年契約のBPOサービス獲得で、効率的な人員配置の実施等によるコスト削減効果

単位:百万円	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	前期比
受注高	2,755	2,610	4,140	4,387	6.0%
受注残	2,598	1,957	3,225	4,137	28.3%
営業利益	227	524	509	619	21.5%

# 【2】サービスソリューション:分野別の売上高



テクニカル  
サポート

前期比  
**7.5%増**

ハードウェア価格の低下により保守費用が減少傾向にあるものの、クラウドを中心とする基盤構築関連が増加

公共  
BPO

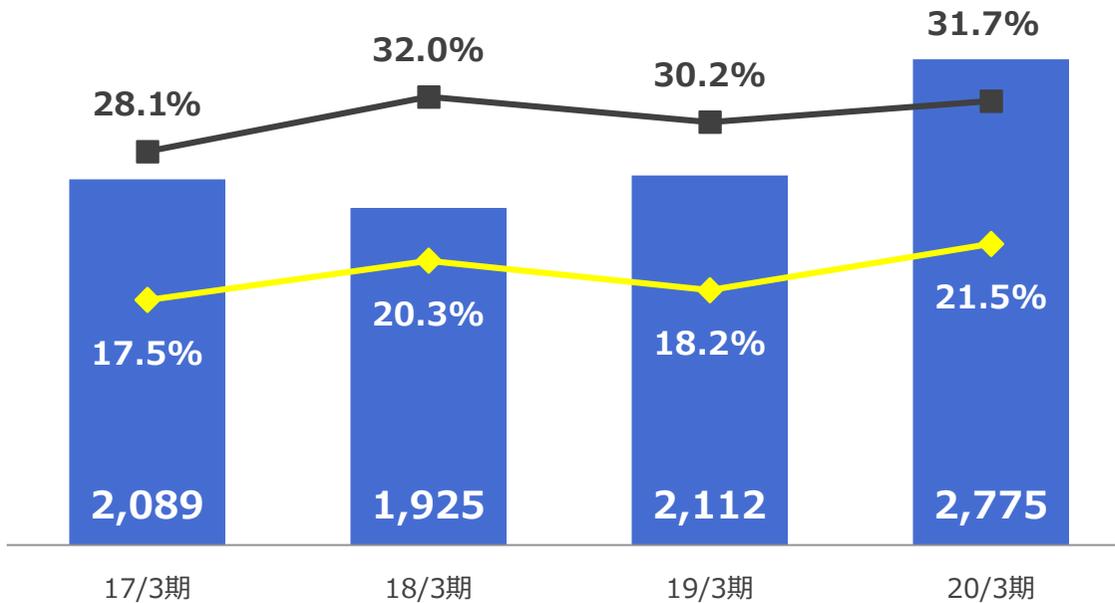
前期比  
**34.2%増**

19/3期は政令指定都市での大型案件が終了した影響により売上が減少したものの、20/3期は前期末の好調な受注残が売上に寄与。既存受注先からの横展開戦略も功を奏し、政令市・中核市を主体にBPOサービスを拡大



# 【3】基盤ソリューションの業績

(単位:百万円) 売上高 粗利率 営業利益率



## ■売上高 (前期比+31.4%)

- キャッシュレス決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の納入による売上増
- 19/3期に受注したシステム機器の納入
- キャリア向け大手顧客の更改案件による

## ■営業利益 (前期比+55.5%)

- 増収による増益

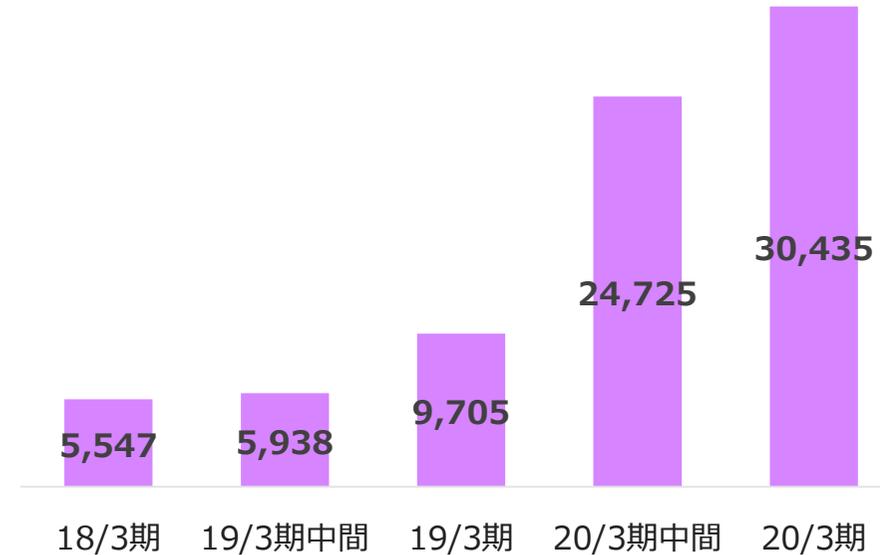
単位:百万円	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	前期比
受注高	1,905	2,003	2,451	3,248	32.5%
受注残	740	819	1,158	1,632	40.9%
営業利益	364	391	384	597	55.5%

# 【3】基盤ソリューション:キャッシュレス決済事業の状況

## ■ 大手地方銀行・カード会社等を中心に ほぼ計画通りに事業拡大中

- 「TSUBASAちばぎんキャッシュレス加盟店サービス」において、キャッシュレス決済システム「iRITSpay」ならびに決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の採用が決定
- 自治体においてもキャッシュレス対応が始まり、首都圏・関西エリアの一部市役所で「iRITSpay決済ターミナル」が採用される
- 割賦販売法改正を背景に新規事業としてキャッシュレス決済事業への進出を図る大手信販系カード会社より受注を獲得

iRITSpay決済ターミナルの受注累計台数  
(単位:台)



### ● 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

当社のキャッシュレス決済端末「iRITSpay決済ターミナル」は台湾企業 (Castles Technology, Co.,) より仕入れています。

1月～3月の間、部品の一部を生産している中国工場が生産停止となったことを受け、入荷が一時的に遅れましたが、4月以降、入荷はほぼ計画通りに戻っております。

なお、当期第4四半期において、端末の入荷遅れにより計画していた売上の一部が今期に延期となっております。

# 第2次中期経営計画の進捗状況



1. 強い事業領域での 競争力維持	主力のフィナンシャル事業の成長維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SCOPE」の販売は好調を維持</li> <li>・ノンバンク向け債権管理システム「TCS-Web」に「e-SMS」や「ロボテックコール」を組み合わせた提案が評価され受注を獲得</li> </ul>	
	公共向け事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県から初の県庁案件として滞納管理システムの受注を獲得したほか、学務支援システムの受注が増加</li> <li>・政令市・中核市を主体にBPOサービスを拡大。複数年契約の獲得、コスト削減を推進</li> </ul>	
2. 戦略商品の販売拡大	キャッシュレス決済事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方銀行、信用組合、クレジットカード会社を中心に計画通り事業拡大中</li> <li>・さらなる事業拡大に向け営業面・機能面の強化を図る</li> </ul>	
	業務自動化ソリューションRPA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RPAに対する企業ニーズの多様化により、販売計画を再考中</li> </ul>	
3. 新しい市場の開拓	アンチ・マネーロンダリングシステムの販売開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方銀行を主なターゲットに受注活動を行うものの、当初計画を下回る</li> </ul>	
	M&Aの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年4月に株式会社イーブを完全子会社化</li> <li>・M&amp;A案件の持ち込みは多く、調査・検討を継続中</li> </ul>	
4. 新技術の獲得・展開	自動受架電システム「ロボティックコール」の事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売ターゲットである、ノンバンク・大手地方銀行を中心に受注を獲得し音声テキスト化を組み合わせ好調を維持</li> </ul>	

## 4. 2021年3月期 業績見通し

# 中期経営計画最終年度の方針



## ■ 第2次中期経営計画の基本方針と目標 (2018年5月公表)

### 事業基盤を固め、断トツ(圧倒的No. 1)を目指す

1. 強い事業領域での競争力維持
2. 戦略商品の販売拡大
3. 新しい市場の開拓
4. 新技術の獲得・展開



### 今期の最重要課題は、利益率の改善

#### 具体的な取り組み

- 外注費の精査、適切な原価管理
- 営業活動の強化 (適切な提案販売、適正な値引き)
- プロジェクト管理の向上、品質管理の強化
- 戦略的受注案件の進捗管理および波及効果の検証

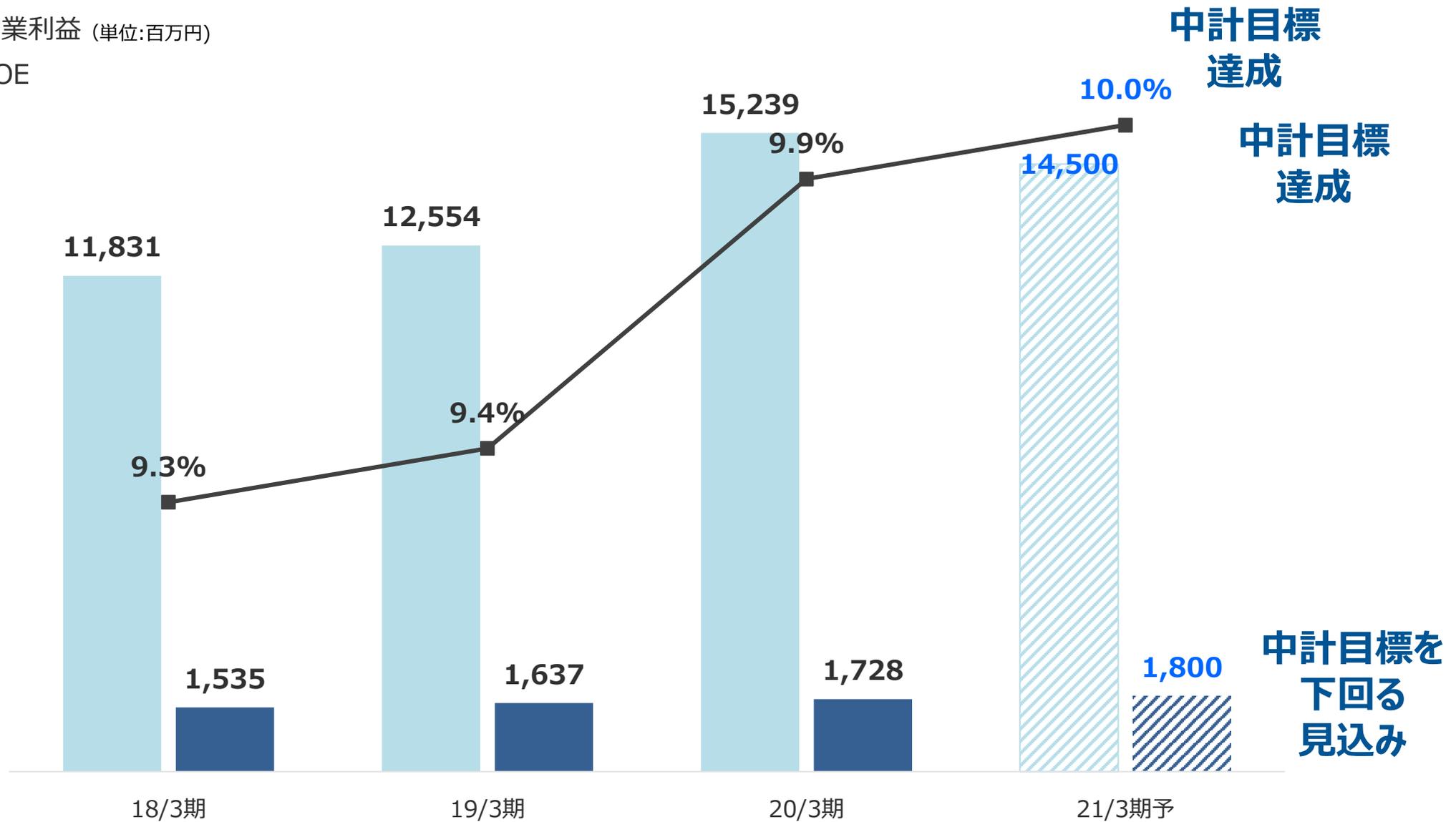
■ 新型コロナウイルス感染症による社会・経済への影響懸念から  
売上減を見込む一方、利益率の改善により4期連続の増益を目指す

(単位:百万円)	20/3期			21/3期 計画			中計目標
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額
売上高	15,239	100.0%	+21.4%	<b>14,500</b>	100.0%	△4.9%	<b>14,000</b>
売上総利益	4,840	31.8%	+4.0%	<b>4,930</b>	34.0%	+1.8%	—
販管費	3,112	20.4%	+3.2%	<b>3,130</b>	22.0%	+0.6%	—
営業利益	1,728	11.3%	+5.5%	<b>1,800</b>	12.0%	+4.1%	<b>2,300</b>
経常利益	1,839	12.1%	+7.6%	<b>1,850</b>	13.0%	+0.5%	—
当期純利益	1,232	8.1%	+7.3%	<b>1,250</b>	9.0%	+1.5%	—
受注高	15,969	—	△2.2%	<b>16,950</b>	—	+6.1%	—
受注残	12,885	—	+6.0%	<b>15,335</b>	—	+19.0%	—
ROE	9.9%	—	—	<b>10.0%</b>	—	—	<b>10.0%</b>

(単位:百万円)		20/3期 実績	21/3期 計画	前期比	コメント
システム ソリューション	受注高	8,333	<b>8,800</b>	<b>+5.6%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20/3期の改元や消費税率改正等、法対応による特需の反動減</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の投資計画の見直し等が懸念されるため、減収減益を見込む</li> </ul>
	売上高	8,988	<b>7,920</b>	$\Delta$ <b>11.9%</b>	
	セグメント利益	1,797	<b>1,744</b>	$\Delta$ <b>3.0%</b>	
サービス ソリューション	受注高	4,387	<b>4,750</b>	<b>+8.3%</b>	自治体向けBPOサービスの拡大、およびシステム導入の増加を見込む
	売上高	3,475	<b>3,580</b>	<b>+3.0%</b>	
	セグメント利益	619	<b>646</b>	<b>+4.4%</b>	
基盤 ソリューション	受注高	3,248	<b>3,400</b>	<b>+4.7%</b>	キャッシュレス事業の拡大による、決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の売上拡大を見込む
	売上高	2,775	<b>3,000</b>	<b>+8.1%</b>	
	セグメント利益	597	<b>660</b>	<b>+10.4%</b>	

# 主要指標の推移

売上高 (単位:百万円)  
営業利益 (単位:百万円)  
ROE



# 5. 新型コロナウイルス感染症の影響



## ■ 影響の長期化により懸念される事項

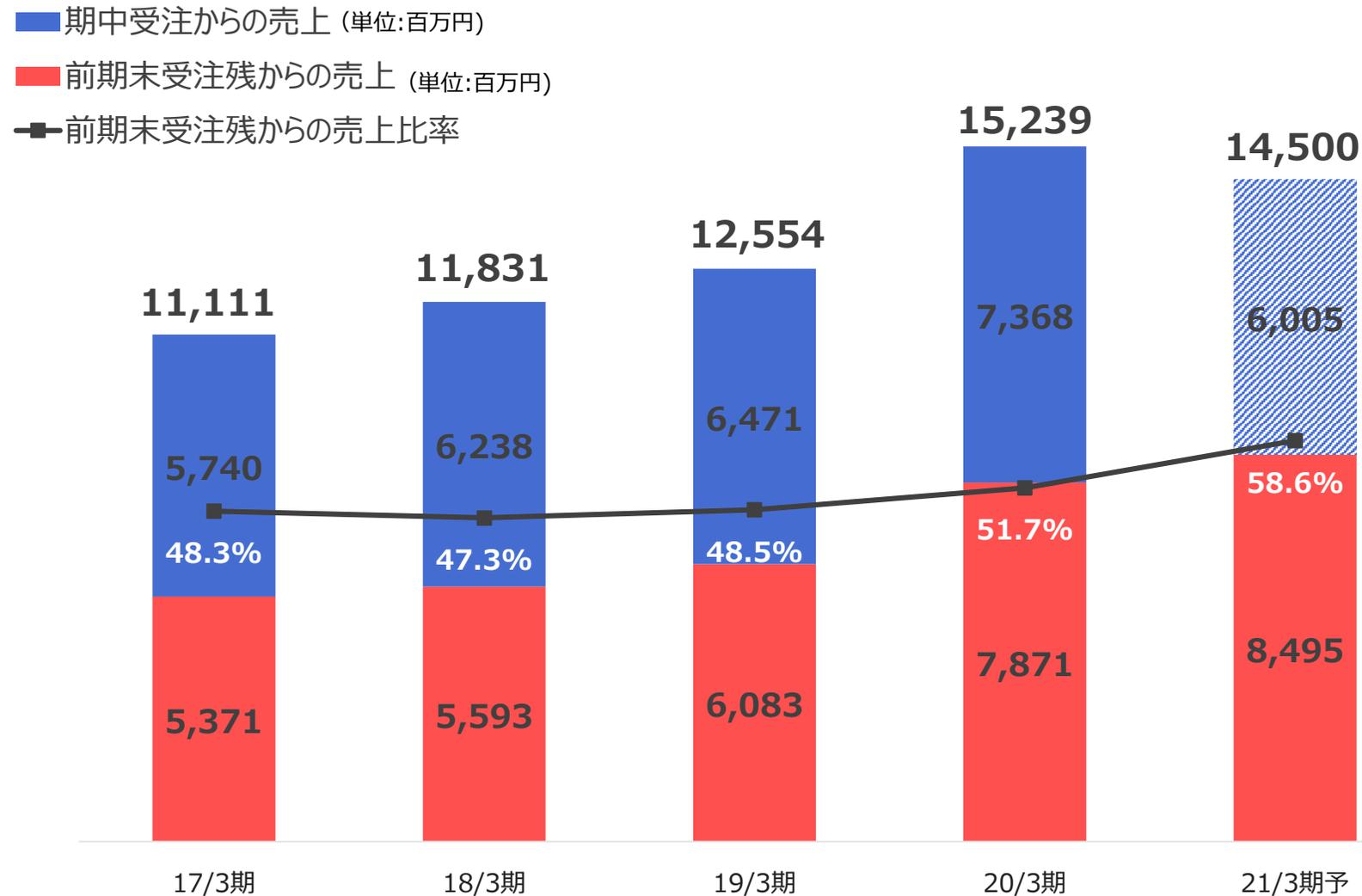
- キャッシュレス決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の計画的調達
- 経済の急激な落ち込み、景気の悪化等による企業におけるシステム投資の抑制
- システム開発の各工程におけるスケジュールの延伸

## ■ 新たな収益機会

- 決済端末の新たな機能の開発、サービス強化によるキャッシュレス決済事業の拡張
- 自治体における業務システム導入の推進、BPOサービスの拡大
- M&Aの推進による事業構造の再構築、新たなビジネス機会の獲得

# 売上高と受注残からの売上推移

■新型コロナウイルス感染症の影響により、経済情勢・動向が不透明なものの高水準を維持した20/3期末の受注残をベースに安定した事業成長を目指す



# SDGsへの取り組み

SDGsの考えに賛同し、当社として以下の国際目標への貢献を目指す

3 すべての人に  
健康と福祉を



特定検診受診勧奨、  
医療費管理 など

4 質の高い教育を  
みんなに



就学・就園・奨学金  
学齢簿管理 など

15 陸の豊かさも  
守ろう



自然維持のためのペーパーレス  
電子契約・Web受付 など

8 働きがいも  
経済成長も



働き方改革・BPOによる  
雇用創出 など

11 住み続けられる  
まちづくりを



安全で住みやすい環境  
ナイスビジョン など

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



次世代情報通信インフラ  
キャッシュレス・プラットフォーム

# 參考資料



## 金融機関向けソリューション

**株式会社百五銀行様**からマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策システムである「NICE Actimize AML/CFTソリューション」を受注（7月5日）

**株式会社きらやか銀行様**でRPA業務自動化ソリューション「NICE Advanced Process Automation」が本格稼働、年間4,449時間の削減効果を見込む（10月11日）

**株式会社仙台銀行様**でRPA業務自動化ソリューション「NICE Advanced Process Automation」を導入、年間2,521時間の削減効果を見込む（10月11日）

**株式会社宮崎銀行様**が住宅ローンの審査業務の効率化に向け個人ローン業務支援システム「SCOPE」の稼働を開始(11月28日)

**株式会社阿波銀行様**から個人ローンへの取り組み強化の一環として個人ローン業務支援システム「SCOPE」と「ローン申込Web受付システム」を受注（12月2日）

**株式会社東京スター銀行様**からマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策システムである「NICE Actimize AML/CFTソリューション」を受注（2020年2月13日）

## キャッシュレス決済ソリューション

**奄美信用組合様**がキャッシュレス決済システム「iRITSpay」の採用を決定（11月5日）

**株式会社千葉銀行様**から「TSUBASA ちばぎんキャッシュレス加盟店サービス」において当社のキャッシュレス決済プラットフォームである決済システム「iRITSpay」ならびにマルチ決済端末「iRITSpay 決済ターミナル」を受注（2020年4月2日）

## コンタクトセンターソリューション

**トヨタファイナンス株式会社様**から自動受架電クラウドサービスを受注（6月14日）



## 公共機関向けソリューション

**兵庫県宝塚市様**から納税案内センター運用業務の民間委託を受注 (4月3日)

**長崎県長崎市様**から「CARS滞納管理システム」を受注、徴収業務の効率化を支援 (5月22日)

**沖縄県宮古島市様**で税・料の電話催告センター運營業務委託を開始 (6月20日)

**沖縄県庁様**から「CARS滞納管理システム」を受注 (9月25日)

**東京都町田市様**から学校給食費公会計業務で「給食費管理システム」を受注 (10月9日)

**兵庫県尼崎市様**から「学齢簿管理システム」と「就学援助システム」を受注 (11月1日)

**鹿児島県鹿児島市様**から納税お知らせセンター運用業務委託を開始 (11月21日)

## 小売業/EC事業者向けソリューション

**株式会社天満屋ストア様**からマルチ決済端末とカード申込電子化システムを受注 (4月25日)

**株式会社紀伊国屋様**から「RITSギフト管理システム」を受注 (7月22日)

**綿半ホールディングス株式会社のグループ会社2社様**から店舗 BGM&CM 配信サービス「Arrow Sounds」を受注 (8月6日)



## 小売業/EC事業者向けソリューション

**株式会社ワイズマート様**にて店舗向けBGM&CM配信サービス「Arrow Sounds」の運用が開始（10月29日）

**株式会社ひらせいホームセンター様**から店舗向けBGM&CM配信サービス「Arrow Sounds」を受注（2020年1月24日）

**株式会社綿半ホームエイドのグループ会社様**から店舗 BGM&CM 配信サービス「Arrow Sounds」を追加受注（2020年3月13日）

**株式会社ジョイフル本田様**から量販店向けデジタルサイネージ配信サービス「Arrow Vision」を受注（2020年3月23日）

**株式会社ホームセンターバロー様**から店舗 BGM&CM 配信サービス「Arrow Sounds」を受注（2020年3月31日）



#### **本資料のお取扱い注意事項**

- 本資料は資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。